

10 令和塾 (仮称)

サロン運営団体 NPO法人地域支え合いネットワーク蕃茄



10 桜川市



開催日及び開催頻度	
開催日	月2回(第2・4水曜日) 10:30~15:00
開催拠点	
開催地	古民家地域交流センター
代表者氏名	
代表者	白井 幹雄
1回の参加人数	
参加人数	17名
参加費	
参加費	500円 (1人1回あたり)
広報方法	
広報方法	回覧板(随時)

開催地域の様子

- 桜川市真壁町(旧谷貝村)で小学校はありますが保育園、中学校はありません。公民館は老朽化して使用できません。当地域は野菜・ハウス園芸特に小玉スイカの生産が主の農村地域です。
- 農業経営者は高齢化し子供は、他産業に就いており、日中は高齢者のみとなっています。また若年層は転出し高齢世帯。独居老人世帯が多くなっています。



サロンに取り組む動機・サロンの将来像

- 代表が市役所退職後当地域で特別養護老人ホームの施設長を退職して、いかに高齢者の介護予防が大切かを痛感し、高齢者のフレイル予防と子育て支援が必要かを、地域の有識者と協議して賛同を得ました。また拠点として古民家の借用についても承認を得ました。コロナ禍の中で参加者仲間づくりに尽力しています。



サロン運営上の協力者

- 地区女性会
- 区長会
- 真壁地区社会福祉協議会

運営費の確保方法

- 現在はコロナ禍で実績もなく市役所等サロンとしての補助申請を準備中
- 現在は趣旨普及し会員募集中(3千円)・県社会福祉協議会より助成申請
- 参加者より参加費用・有識者寄付金・補助助成は無し

連携先・協働先

- 行政、特老勤務時の有志、地区女性会、真壁地区社会福祉協議会(4年間常務理事として勤務)していたので協力支援体制は出来ています。今後はこのサロンの趣旨を理解して、参加者が集まることができるかが重要課題。特に送迎用の要望があり難しい局面に達しています。

サロンのウリ

- 広大な敷地と竹林、木立の中、タケノコ掘り、ミョウガ、柿などの果実がありましたので、タケノコ飯山菜天ぷら等手作り蕎麦料理が自慢できます。



コロナ禍でのサロン活動について

- サロンでの活動を自粛していたので、会員及びボランティア有志で共同募金からの助成により購入したミシンを活用して、地元小学校2校全生徒に手作りマスク、及び雑巾等を寄贈しました。
- コロナ禍で頑張っている医療従事者の皆さんへ音楽で感謝のエールを送ろうと題して、プロの演奏家によるコンサートを開催しマスク着用、手指消毒を呼びかけ、同時に当法人の趣旨普及に努めました。

◆助成金の活用によりパワーアップした活動

- ◆ サロン活動で使える豆知識
- ◆ サロン活動の醍醐味

など、これからサロン活動を予定している方へのメッセージ



- コロナ対策としての助成金で、非接触型体温計が購入できたので、体温測定が安全で簡単に測定できました。
- ミシン購入で手作りマスクや、古い衣類のリサイクル活用ができました。
- レンジ購入で火を使わず高齢者向け献立講習、指導ができました。
- 高齢者は経験豊かなので、子育て・料理・健康法を普段の生活に生かしている。体験談を通して時には講師になってもらい本人の自立支援に効果があります。
- サロンに来た人が、次に仲間を誘ってきてくれた時に喜びを感じます。